

【政策創造研究科 ゼミ研究プロジェクト概要・公募要件・期間・問合せ先】

以下は、大学院研究補助金の使途先である政策創造研究科各ゼミプロジェクトの概要・公募要件\期間です。

現在計7プロジェクトが進行・準備中となっております。この各プロジェクトは政策創造研究科各ゼミが母体となっており、ゼミを越えたプロジェクト・研究調査を可能とするため各プロジェクト毎に他ゼミ生の参加要件と公募期間・連絡先が明記されています。もし7プロジェクトの中でご興味がおありのものがあれば、まず担当の方にお問い合わせの方をお願いいたします。

以下は、大学事務局に申請をいたしましたプロジェクト研究補助金額と交付額、研究目的です。

*「申請金額」は、各プロジェクトが法政大学学生研究補助金に申請を行った額です。

《大学院学生研究補助金交付申請について》

政策創造研究科 各位

政策創造研究科 ゼミ代表者会議

代表 門田政己

左記のとおり補助金の申請を行い交付されました。

記

■補助金申請額 4,766,264円

■補助金交付額 1,117,430円
(1プロジェクト当たり 139,678円)

■研究内容

政策創造研究科プログラム（創造群）横断型プロジェクト研究と成果発信シンポジウム

政策創造研究科研究補助金の申請内容（研究目的および計画）

当研究科は「政策づくり」「地域づくり」「産業創出」を担える人財を目指し、172名（博士42名含む）

の学生が3つの創造群（9のプログラム）に分かれて研鑽を積んでいます。

しかし、これだけ多くの学生がいながら群やプログラムを横断した研究交流がないことが課題でした。

そこで、各群や各プログラムで行われている自主的な調査・研究を他群や他プログラムから学生を公募

する横断型のプロジェクト研究にすることで社会人が大半を占める当研究科の多層・多分野の学生達が

相乗的に研究を深め合い、価値ある研究成果を収めると考えています。

そしてこの成果を当研究科の学生全員が享受できるよう研究成果発表とシンポジウムを開催します。

これらの取組みによって、プロジェクトに参加した学生はもちろんシンポジウムのみ参加した学生に

とって今までにない気づきや発想など新たな学びを得ることが期待できます。

また、本件を機会に我々在学生が主体的に“政策創造力”を身に付けることを目的にしています。

ゼミ代表者会議各位

2012年7月13日
プロジェクトリーダー：
柏瀬延大

<2012年度 政策創造研究科 研究補助金申請プロジェクト>

研究テーマ (プロジェクト名)	大震災後の地域経済に関する調査研究
研究概要	東日本大震災の被災地域を視察し、マクロな経済統計では見えにくい地域経済の現状を把握することを目的とする。
申請額	495,264 円 (内訳: 研究調査費、図書購入費、その他必要な経費として)
調査方法	被災地域の視察及びヒアリング調査を中心に研究を行う。 (訪問予定地: 宮城県仙台市、石巻市、南三陸町等)
調査結果の利用方法	参加者の今後の研究に調査研究を活かすとともに、視察内容を報告書としてまとめる。
参加要項	①他ゼミ受け入れ人数: 1名以上 ②被災地の視察に参加できる方(視察は9/8、9/9を予定) ③課題として、レポート作成(A4×1枚以上)及び視察先で発表あり
応募期間	8月12日(日)まで (夏期休暇中に視察を行うため、公募から1週間とさせていただきます)
応募窓口	柏瀬延大 nobukashi5666@gmail.com

2012年7月13日
プロジェクトリーダー: 埴久
美子

<2012年度 政策創造研究科 研究補助金申請プロジェクト>

研究テーマ (プロジェクト名)	農業就業に対する意識調査
研究概要	今年初めて雇用就農が自営就農を超えた(農業大・農大調査)。農業就業に対して関心が集まっているが具体的にどのようなイメージを持っているか、またどのような条件を整えば就業したいと考え、担い手となりうるのかについて研究を行う
申請額	450,000 円 (税別)
調査方法	インターネットによる無作為抽出アンケート調査: 15 問程度 1000 サンプル
調査結果の利用方法	この度のアンケート調査の結果をもとに研究報告書の作成・研究発表会の開催
参加要項	①受け入れ人数 : 何名でも可(現在 9 名) ②参加条件 : 農業に興味関心のある方
連絡先	埴久美子 k-hanawa@welseed.jp
公募期間	本日~9 月末日

ゼミ代表者会議 各位

2012年7月13日

恩田研究室

<2012年度 政策創造研究科 研究補助金申請プロジェクト>

研究テーマ (プロジェクト名)	浜松と諏訪の都市空間研究
研究概要	静岡県浜松市・長野県諏訪市における、まちの賑わい調査。地元住民へのインタビュー(アンケート)調査を実施し、その実態と今後のまちの賑わいについて検証する。
申請額	311,200円 (内訳:図書購入費、その他必要な経費として)
調査方法	住民へのインタビュー調査及びアンケート調査
調査結果の利用方法	調査後、報告会を実施(予定)
参加要項	受け入れ人数1名以上,希望者とゼミ生との面談により参加決定
応募期間	8月12日(日)まで、 (8月末より調査を行うため)
応募窓口	富永 正義 masayoshi.tominaga.3q@stu.hosei.ac.jp (ゼミ代表者)

ゼミ代表者会議 各位

2012年7月13日

増淵研究室

<2012年度 政策創造研究科 研究補助金申請プロジェクト>

研究テーマ (プロジェクト名)	オトナの Culture 研究会
研究概要	①少子高齢・人口減の中、主力マーケットは「大人」へ②同好の士等、新たな「オトナ」マーケットでのトライブ構築始まる③新たなサードプレイスの認知・ビジネス創出の可能性④地域振興に繋がるニーズがそこにあるのでは?)
申請額	¥ 486,700 <u>(観劇・鑑賞、地域調査交通費等)</u>
調査方法	インタビュー調査及びアンケート調査
調査結果の利用方法	調査後、報告会を実施(予定)
参加要項	受け入れ人数 1 名以上,希望者とゼミ生との面談により参加決定
応募期間	通年募集
応募窓口	M2 井出上 (hiide.ideue@nifty.com)

ゼミ代表者会議 各位

2012年7月9日
プロジェクトリーダー: 清水洋美

<2012年度 政策創造研究科 研究補助金申請プロジェクト>

研究テーマ (プロジェクト名)	ビジネス農業体に関する調査研究
研究概要	日本の農業経営が利益を確保し、国際競争力を高めるための方策について 収益構造の差異に着目し、経営学の観点から調査研究を行う
	国内での既存の流通チャネルやスキームを変革することや、 新市場の開拓等での国内競争力を確保した企業等を対象に調査研究を行う
申請額	1,546,060 円 (内訳: 研究調査費の旅費として)
調査方法	ヒアリング調査を中心に研究を行う (ヒアリング予定企業56社)
調査結果の利用方法	実施済みの「農業ビジネスの実態と方向に関するアンケート調査」および、 この度のヒアリング調査の結果をもとに研究報告書の作成・研究発表会の開催
参加要項	①受け入れ人数 : 新規4名(現在11名) ②参加条件 : 各地にインタビューに行ける方
応募期間	8月12日(日)まで (夏期休暇中に取材を行うため公募から1週間とさせていただきます)
応募窓口	門田政己 kadota@moncompany.co.jp

ゼミ代表者会議 各位

2012年7月13日

プロジェクトリーダー:太田志保

<2012年度 政策創造研究科 研究補助金申請プロジェクト>

研究テーマ (プロジェクト名)	文化による地域活性プロジェクト
研究概要	益子町の住民に対して、地域文化に関する事実や意識のインタビュー(アンケート)調査を実施し、地域活性を導くメカニズムを検証する。
申請額	220,000円 (内訳:研究調査費、図書購入費、その他必要な経費として)
調査方法	益子町の住民へのインタビュー調査及びアンケート調査
調査結果の利用方法	参加者の今後の研究に調査研究を活かすとともに、視察内容を報告書としてまとめる。 最終的に町への政策提言。
参加要項	①他ゼミ受け入れ人数:1名以上 ②原則、希望制。希望者とゼミ生との個人面談によって参加可否を決める。
応募期間	9月末日まで (10月中旬に1泊2日で視察を行う予定のため)
応募窓口	monta-labo@googlegroups.com (代表アドレス)

<2012年度 政策創造研究科 研究補助金申請プロジェクト>

研究テーマ (プロジェクト名)	雇用に関するインターネット調査
研究概要	インターネット調査機関に依頼し、雇用に関する意識調査を行う。
申請額	420,000円(うち消費税5%を含む) 申請金額根拠としてマクロミル料金表を添え付け
調査方法	雇用に関する意識を調査するために、25問程度の設問表を用意し、マクロミル社のクイック調査を利用し、500人程度にアンケート調査を行う。
調査結果の利用方法	戻されたアンケート結果を個別に加工し、研究の素材として利用する。
参加要項	①受入人数:若干名(1、2名) ②参加条件: ・調査データは許可無く使用しない ・自発的、積極的に参加いただけること ・原則、本調査の実施、データ使用は今年度限り
応募期間	公募期間:8月中旬～下旬
応募窓口	M2 高岡 (tomoko.takaoka@gmail.com)